

イスラエル・パレスチナにおける即時停戦と和平実現を求める決議

討論要旨 川村つよし議員

昨年11月頃から、同種の決議を上げる地方議会が複数あり、気になっていました。

最新の報道を決議文に反映させることは、困難に思いますが、決議文案を検討していた、この1か月ほどの報道で特に印象に残っているのは、

ジェノサイドを行うイスラエルに対し、アメリカが支援を続けていることを捉え、アメリカ各地で学生が抗議行動を続けていることです。

いま一つは、4月19日、イスラエルによるイランへの攻撃があり、問題が飛び火するのではないかと不安を覚えましたが、複数の国からイランに自制を求める声上がり、中東でのさらなる緊張激化は取りあえず回避されました。

「国際社会に対し、対話と外交、政治的解決策を通じて紛争と緊張の根源に対処する」、これはオマーン外務省の言葉を借りたものですが、不安定さを増してしまったように見える世界でも、武力衝突を回避するための努力を呼びかける国が少なくないことに、未来と希望を感じます。

あまたの地方議会から決議が上がることは、大きな力があると思います。

遅ればせながらと言わなければなりません、一刻も早い停戦と和平実現を求め、決議に賛成を表明します。